

愛 & ハート

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

愛の家

- 「第60回愛の家運動会」
～コロナを吹き飛ばせ～
- 感染予防に取り組む前に
～理解してほしい清潔・不潔の違い～
- 職員採用活動

あいハート須磨

- あいハート須磨 S-1グランプリ
- 事務業務を通して全部門をサポート

あいハート離宮前

- 敬老会を通して感じたご家族様の想い

2021年度 第2四半期 (中間期) 運営状況

須磨
デイサービス
利用者の
皆様



255号

2021 November

愛の家

「第60回愛の家運動会」 「コロナを吹き飛ばせ」

●かがやき2子自スタッフ 田上奈央

10月16日(土)晴天に恵まれ、無事予定通り開催することができました。新型コロナウイルス感染防止の為、今年も愛の家の入所者さんと職員だけで、時間は午前中のみという形で、職員一同、安心安全な運動会ができるよう工夫して行いました。



開会式の後、きぼうの子ども達による元気な選手宣誓が行われました。

初めの競技、大好評のお菓子食い競争では、密を避ける為に間隔を空け、人数を最小限にして執り行われました。スタートの合図がなった後、元気よく釣り竿にあるお菓子めがけて走り出しました。お菓子を手に入れた後は、笑顔でカメラに向かってピースをしてくれ、今年も大好評でした。

初めて取り入れられたサイコロリレーでは、サイコロの出た目の数によって、走る距離が決まるというものです。初めての競技でもあり、少し戸惑う利用者さんもありましたが、ドキドキワクワクしながら、サイコロを振っていました。



フラフープリレーでは、フラフープの輪の中に入って、フラフープを落とさずにゴールまで頑張って走っていました。

大玉転がしでは、二人一組になり、赤と白に分かれて行われました。中々上手く転がす事が難しく、苦戦している場面もありましたが、最後には笑顔でゴールする事が出来ました。



みんな1つになり、1つの事を成し遂げる事が出来、笑顔いっぱい運動会となりました。

新型コロナウイルス感染防止の為、行事や外出の機会が減っている中、コロナ禍でも楽しめる様に、施設内にある自販機へジュースを買いに行ったり、運動場で遊んだりと色々なレクリエーションを行っています。1日でも早く新型コロナウイルスが終息する事を願うばかりです。

感染予防に取り組み前に 理解してほしい清潔・ 不潔の違い

●看護スタッフ 磯崎 真実

新型コロナウイルスの発生から、すでに数年が経過しています。未だ

に終息の兆しが見えないままに不安な日々が続きます。

こんなに感染予防・感染対策と世の中が沸いていますが、ほとんどの人はすでに手洗い(手指消毒)・うがい・マスクという基本の対策を必須とする生活を当然のように送られていると思います。

その中で、一般の人にはピンとこないかもしれませんが、医療従事者なら誰もが学生の頃からたたき込まれることがあります。それは清潔・不潔の違いです。

清潔操作といい、手術の現場や外科的処置の場面で行うことが多いです。ただ清潔・不潔というのは、医療現場だけでなく、普段の生活の中にも役立つことがたくさんあります。

例えば、車から荷物を降ろす時に手が塞がっているので荷物を地面に置く。

その荷物をテーブルの上に置く

おわかりだと思いますが、そのテーブルでその後に食事やお茶をしますか？

きつと食事の前にテーブルを消毒すればいい・・・

でも、すぐに消毒できればいいけれど、その前に誰かがテーブルを触ったら・・・

だからと言って、ここからウイルスが感染するとは限りません。

考え方としては、地面は不潔と肯定すると荷物の底も荷物を置いたテーブルも不潔とみなします。

また、隔離静養者が出た場合、清潔物品用のロッカーに使用していた自分のマスクやフェイスシールドを入れる。

これもまた、自分は清潔だという概念の元、そうしているのかもしれない。

では、隔離静養者は不潔と考へますか？

発熱があつて隔離はされていますが、感染はしていないかもしれません。

もし介助者の方が感染者であれば、抵抗力のない利用者さんに感染



させて重症化させる恐れもあると思います。

このように清潔・不潔の違いがわかれば、隔離の意味も、おのずと理解していただけると思います。

隔離というのは、自分からの感染を防止する、自分を感染から予防する、という意味になります。

一人ひとりがそれを守ることです。ウイルスを引き込むことなくクラスター発生を防ぐことができると思います。

職員採用活動

●事務スタッフ 北口恵美子

事務業務の一つに職員採用活動があります。

愛の家では、2018年度から四国地方を中心に、高卒者を対象とした採用活動に力を入れてきました。

入職後の姿を具体的に想像してもらえよう、学生の年齢に近い若手職員と共に活動を行ってきましたが、県内就職が多く県外就職にはつながりませんでした。

そこで活動の地域を新たに広げるため、今年度は宮崎県出身の医師の平部リーダーと九州地方へ進



出しました。

しかしコロナ禍の影響で鹿児島県での説明会は中止となり、参加予定だった20校へパンフレットと求人票を送付し思いを託しました。

7月に入り緊急事態宣言の解除にともない、宮崎県で高校生を対象とした進路ガイダンス（合同企業研究会）が実施されることとなりました。

最終的に参加は1校のみということになってしまいました。が、せっかく現地に行くのだからと、リーダーが宮崎県内で福祉科のある高校を調べてくださり、日南市と小城市にある2校の進路指導の先生とお会いすることができました。

成果として、パンフレットを送付し

た鹿児島県の1校から見学を希望している生徒がいるとの連絡があり、また個別で説明に赴いた宮崎県の高校からも就職を希望している生徒がいるとの連絡をいただきました。

鹿児島県からの見学については、直接施設へ来てもらえなかったため、児童部と成人部の主任に協力いただきスマートフォンでリモート見学会を行いました。

今回の活動を通して、施設長をはじめ主任及びリーダーの職場やスタッフに対する思いを知り、みんなが施設をより良くしていきたいと考えていることを改めて実感しました。

高校を卒業して初めて社会に出る新入職員、今現在がんばって支援に取り組んでくださっている職員、みんなが気持ちよく仕事のできる最適な職場環境のために、みんなの思いを大切に、これからも心を燃やしていきたいと思えます。



あいハート須磨

あいハート須磨 Sリーグランプリ

●特養部門長 原田 浩樹

あいハート須磨特養では、2021年度の部門実行計画の取り組みの一つとして「特養・シヨート全職員の接遇・マナー意識の向上」を掲げています。介護の仕事は入居者様やご家族様と接する中で、言葉遣いや態度などに気を付けなければなりません。シヨートステイにおいても、利用者様の対応だけでなく、ご家族様、各事業所のケアマネさんとの関わりの中で、対応力を強化することが稼働率のアップに繋がります。

しかし、現場の職員は今まできちんとした接遇やマナーの教育を受けて来ていないのが現状です。そのため、入居者様に対しての言葉遣いや、敬語や話し方が不十分な職員が対応することによって、不快な思いをさせてしまったり、不信感からクレームに繋がることもあります。そのため、接遇・マナーの技術は介護職員全員にとって必要なスキルとな

っています。

職員の接遇意識の向上を図るためには、毎朝の唱和が有効と考え、接遇に関する標語を職員から募集することになりました。ただ単に募集するのではなく、接遇向上のために標語を考えてくれた職員には何か景品を付けようということになりました。名付けて「S(接遇)ーグランプリ」を企画しました。まずは日頃から入居者様やご家族様、職員との関わりの中で気になる場面を想像してテーマを設定しました。①入居者食事編、②入居者排泄編、③スピーチロック編、④職員編、⑤電話対応編、⑥身だしなみ編、⑦あいさつ編、と7つのテーマからそれぞれ思いつく標語を考えてもらいました。職員から提出された標語の選考基準として、「記憶に残る」、「実践につながる」、「ポジティブな内容」、「口ずさんでしまおう」としました。まずは部門内で選考し、さらに施設長の最終選考で選ばれた『最優秀賞』と、各項目2つずつが『優秀賞』『特別賞』として毎朝唱和する標語に選ばれました。

最優秀賞には¥5000分の図書



カードと表彰状、優秀賞には¥3000分のクオカードと表彰状、特別賞には¥1000分のクオカードが贈呈されました。施設長からのサプライズの授賞式に授賞された方はモチベーションアップにも繋がったと思います。

これからの取り組みとして半年間毎朝唱和し、3か月後・6か月後に自己評価し、最終的には他人からの評価を受け、一番意識できた人、接遇の模範となった職員には、真の「S-

1グランプリ」を贈呈したいと考えています。

事務業務を通して 全部門をサポート

●事務所スタッフ 柴田 直子

あいハート須磨で事務員として働かせていただいております。

主な仕事としては、全部門の介護保険請求事務、パソコンやネットワークの設定関連、事業の指定や加算取得に関する届出などを行っています。

介護保険請求は、今現在運用しているソフトによって、入力請求業務がよりスムーズに行われ、返戻(国保連へ請求が通らない分)の数も以前と比べて少なくなっています。返戻は必ずしもこちら側のミスとは限りませんが、返戻発生時、他事業所のケアマネジャーさんと原因を探し、解決できた時は達成感を感じます。

パソコンやネットワークの設定関連については、新規で購入したパソコンのセットアップ、ウイルスソフトの設定、ネットワーク



接続の設定等を完了後、部門に引き渡します。昨今はコロナ禍ということもあり、会議や研修をWEBで行うことが多く、新規のパソコンの需要も増えていますので、各部門の業務がよりスムーズに行えるよう心掛けています。

加算等に関する届出については、人員配置に変更があった場合や算定内容について変更があった場合など、指定許可を受けている神戸市に届け出を行っています。それ以外にも指定の更新手続きや、3年に1度行われている介護報酬改定においても取得する加算に応じて手続きを行なっています。

2021年4月に行われた介護報酬改定では科学的介護をより推進する内容となっております。新たな加算を算定するにあたり、厚生労働省にLIFE（科学的介護情報システム）を用いたデータ提出をしなければなりません。これは今後の安定的な事業運営のために、避けては通れない加算となっております。

あいハート須磨もこのLIFEを用いたデータ提出を進めておりま



す。現在、ディサービスの『個別機能訓練加算Ⅱ』と特養の『栄養マネジメント強化加算』に関するデータ提出を行っております。データ提出を始めるにあたり入力にかなりの時間を要するときいていたため、どのようにすれば負担が少なく入力しやすいか、各部門と綿密に相談しながら進めてきました。現在は特養の排泄支援加算について準備中です。これからも、微力ながら少しでもサポートできるように頑張ります。

あいハート離宮前

敬老会を通して感じたご家族様の想い

●あいハート離宮前スタッフ 森島夕子

「コロナ禍であらゆる行事が中止となった昨今。当ホームでは細心の注意を払いながら九月九日に敬老会を開催しました。高齢者施設にとって、ご入居者様の長寿を祝福し、感謝をお伝えする場である「敬老会」はとても重要な行事です。例年であれば奏者などのゲストにお越しいただき、賑やかで華々しい会なのです

が、昨年同様にそれは叶わず密を避けるためにフロアごとに分かれて小規模での開催となりました。今年は北須磨小学校の児童の皆さんにも協力をお願いし、児童たちの考えた手品やダンス、歌などをDVDにしている。ただきビデオメッセージとして上映しましたところ、皆様は食い入るように視聴され、微笑ましい表情をさ



れていました。また、昨年同様に児童の皆さんから手作りのプレゼントを頂戴しました。

ホームからのお祝いの品は、プロの似顔絵師に一人ひとり個性溢れる似顔絵を描いていただくこととしました。作品を手にしたご入居者様は互いに見比べ、褒め合いながら大変喜んで下さいました。ご家族様にもお見せした所「ええもん作ってもらたね!」と大変好評でした。中でも印



象的だったのが、看取り期のため敬老会にご参加いただけずに天寿を全うされたY様の事です。似顔絵はご存命中に直接お渡しすることが叶いませんでしたが、どうしてもご家族にお渡ししたいという一心で、最後のお別れの場である斎場まで届けさせていただきました。その似顔絵は、生前お元気だった頃の写真を元に作成した似顔絵で、満面の笑みで優しい表情をされていました。その似顔絵をご覧になった息子様が「本当によく似ている。元気がだったころの母さんにそっくりだ」と涙を流しながら笑顔でお話して下さいました。娘様も「本当によく似ている。こんな顔で笑っていたね」「ここでの最後は本当に素晴らしかった。ここに入居出来て幸せだったと思います。」と仰って下さいました。後日、お届けした似顔絵を祭壇に飾っているとお聞きしました。

私たちはご入居者様に喜んで頂けるよう日々お手伝いをさせて頂いていますが、その陰には常にご家族様が見守っていてくださっているというのを改めて感じました。そのような思いがあるということとを心に留め、今後も良質のサービスが提供できますように努めて参ります。

「共生」を考える⑤

あいハート須磨施設長 森本 光弘

仕事柄、職員の採用面接をする機会が多くありますが、学歴や職歴（退職理由）を聞いていく中で就労支援の必要性を感じる求職者に一定頻度で遭遇します。「学生時代から集団生活に馴染めなかった」といったことや、「仕事の優先順位がつけられない」、「イレギュラーなことが発生した際に臨機応変な対応ができない」などの理由から職場でトラブルになって退職したなど、発達障害の可能性が考えられるケースです。



発達障害は、自閉症スペクトラム障害（自閉症やアスペルガー症候群など）や学習障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）など、脳機能の発達による障害ですが、個人差が大きく、知的な遅れがない方もいるため、本人や家族が障害を認識していないケースも珍しくありません。また、大人になって社会生活（特に就労）を送るようになったことで、その人に潜在的にあった特性が「社会（職場）に適応できない困った言動」として初めて明確になり、発達障害の存在に気づくこともあります。

ネットで簡単に情報収集できることに加え、「大人の発達障害」に関する書籍も数多く出版されていることから、自分

自身や家族が発達障害の可能性を疑うことは難しいことではないと思います。しかしながら、採用面接に求められる求職者のほとんど（ほぼ全員）は、自身の障害を認識していないため、職種の選定を含め就労するための支援を受けていません。



このような場合、障害のことには触れずに、ハローワークへの相談を勧めています。同時に何となく後ろめたい気持ちになります。何とか就労の場を提供してあげたいという気持ちになるものの、採用すれば、どのようなトラブルが発生して既存職員からどのような不満の声が上がるか容易に想像できるため、採用に踏み切ることはできないからです。「個人の特性を理解し、その人の苦手なことに寛容が必要なサポートができる職場」、または「個人の特性に応じて業務を柔軟にカスタマイズできる職場」であれば、この人も活躍できるのにと思うと私自身の力不足を感じずにはいられません。

発達障害の方が活躍できる職場を目指すことは、法人理念の実現に向けた営みであるとともに人材不足への対策（人材の新規獲得・離職防止）にもなり得ると思います。求職者自身の障害に対する認識や職場風土の変革など、複数の難しい課題を解決する必要がありますが、今後の目標の一つとして意識したいと思っています。

2021年度 第2四半期(中間期) 運営状況

2021年4月1日から9月30日までの累計

資金収支計算書	本部	愛の家+きぼう	あいハート須磨	あいハート離宮前	脳梗塞リハビリ ステーション神戸須磨	合計※
介護保険事業収入	0	0	225,019,202	58,375,630	0	283,394,832
老人福祉事業収入	0	0	0	63,615,466	0	63,615,466
リハビリ等事業収入	0	0	0	0	8,913,300	8,913,300
児童福祉事業収入	0	43,699,084	0	0	0	43,699,084
就労支援事業収入	0	1,251,186	0	0	0	1,251,186
障害福祉サービス等事業収入	0	190,405,506	0	0	0	190,405,506
経常経費寄付金収入	9,904,447	0	155,156	68,630	0	10,128,233
受入利息配当金収入	861,965	22,556	27,772	309	23	912,625
その他の収入	27,192	1,230,606	2,919,583	1,346,170	0	5,523,551
事業活動収入計(1)	10,793,604	236,608,938	228,121,713	123,406,205	8,913,323	607,843,783
人件費支出	12,578,765	141,258,386	189,015,701	76,464,627	5,923,171	425,240,650
事業費支出	163,960	35,457,692	32,803,852	16,474,680	361,852	85,262,036
事務費支出	5,096,111	31,032,473	19,745,840	14,133,244	3,293,112	73,300,780
就労支援事業支出	0	1,513,773	0	0	0	1,513,773
利用者負担減免額	0	0	27,869	0	0	27,869
支払利息	0	0	0	1,227,151	0	1,227,151
その他の支出	0	513,276	2,895,071	1,198,936	0	4,607,283
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	64,365	0	0	64,365
事業活動支出計(2)	17,838,836	209,775,600	244,552,698	109,498,638	9,578,135	591,243,907
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-7,045,232	26,833,338	-16,430,985	13,907,567	-664,812	16,599,876
施設整備等収入(4)	0	0	65,104,500	9,000,003	0	74,104,503
施設整備等支出(5)	0	1,540,030	83,229,114	13,124,994	0	97,894,138
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-1,540,030	-18,124,614	-4,124,991	0	-23,789,635
その他の活動収入計(7)	14,300,000	530,000	9,106,869	305,712	1,308	24,243,889
その他活動による支出(8)	1,291,514	7,067,600	6,500,072	1,800,024	0	16,659,210
その他活動収支(9)=(7)-(8)	13,008,486	-6,537,600	2,606,797	-1,494,312	1,308	7,584,679
当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)	5,963,254	18,755,708	-31,948,802	8,288,264	-663,504	394,920

※合計欄は内部取引消去により各拠点の合計とは一致しません

ボランティア 活動状況	愛の家			あいハート須磨・離宮前			合計		
	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計
利用者支援	0	0	0	0	34	34	0	34	34
施設運営(行事等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備	0	0	0	32	0	32	32	0	32
合計	0	0	0	32	34	66	32	34	66

※新型コロナウイルスの影響により、受入れをお断りしておりました。

事故発生状況	愛の家			あいハート須磨・離宮前		
	受診	診察不要	計	受診	診察不要	計
転倒による裂傷・骨折等	3	1	4	6	1	7
誤飲・誤嚥・誤薬	1	0	1	0	0	0
裂傷・骨折、その他	0	0	0	0	1	1
無断外出	0	2	2	0	1	1
合計	4	3	7	6	3	9

お客様の声承り状況	愛の家	あいハート 須磨・離宮前	合計
ケア・支援内容	0	2	2
接客態度	0	2	2
嗜好・要望	0	0	0
設備・備品不備	0	6	6
その他(家族対応等)	0	0	0
御礼	0	4	4
合計	0	14	14

10月

●**寄付金**

NTT労働組合
西日本本社総支部様
NTT労働組合退職者の会
兵庫県支部協議会様
石原喜久様
小野一広
(小野クリニック院長)様
中山英治様

●**寄贈品**

ダスキン様
藤本正己様
増倉幸三様
(計9件)

●**愛のカンパ**

NTT労働組合退職者の会
大阪支部協議会様

●**寄贈品**

ダスキン様
小瀬古亮子様
(計10件)

●**8月**

●**寄付金**

大西一只様
北秀行様

●**寄贈品**

ダスキン様
奥村直子様
森和久様
(計5件)

**ご支援を
くださった方々**

脳梗塞・脳出血の後遺症改善をめざす “脳梗塞リハビリステーション神戸須磨”

改善事例 part2

今回紹介する症例は、脳梗塞を発症し現在も当センターを利用されている右足に麻痺がある30歳代の男性です。発症後は急性期病院に1ヶ月間、回復期リハビリテーション病院に4ヶ月間入院されていました。退院後も、「麻痺を改善したい」「装具を外して歩けるようになりたい」「釣りに行きたい」と希望をもち、当センターの体験プログラムを受けられました。

本症例は、歩いているときに脳梗塞の方に多くみられる「足の内反（つま先が内を向き、足首の捻挫が起こりそうな状態）」が症状としてみられ、不安定な歩行でした。今回はこの「足の内反」に着目してご紹介させていただきます。

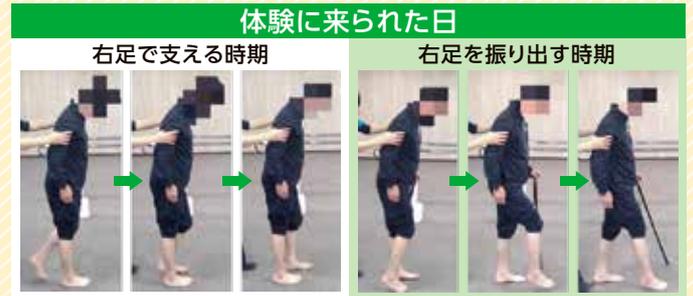
体験に来られた日の歩行は、右足で支える時期に足が内反し、足の指が強く曲がっていました。上半身も前に傾いていました。

また、右足を前に振り出す時期でも、右足が床に着くときに足が内反し、バランスを崩しやすい足の接地になっていました。

当センターのリハビリを開始してから2ヶ月半後、「足の内反」が改善しました。右足で支える時期に土踏まずが浮くことなく、足の裏をしっかりと床に接地することができるようになりました。

右足を前に振り出す時期も、足を大きく振り出すことができ、足が内反せずにバランスを崩さず床に接地できるようになりました。

現在も当センターのリハビリを継続されており、日常生活



でも装具を外して歩く機会を増やすことができます。今までできなかった趣味の釣りに、ご友人と一緒にでかけることができるようになりました。

本症例の歩行の改善をYouTubeで動画配信しています。誌面に掲載したQRコードを読み取っていただき、ぜひご覧ください。



特別体験プログラム 脳梗塞や脳出血といった脳の疾患の後遺症は医療保険でのリハビリがおこなわれますが、回復期リハビリテーション病院の入院期間は最大150日と期限が設けられています。当センターは、保険適用外の自費のリハビリサービスとしたことで、自由度の高いきめ細やかなリハビリを日数制限なく提供することができます。

150m超と関西最大級でオープンした「脳梗塞リハビリステーション神戸須磨」は、開設から1年9ヶ月を迎えました。現在、特別体験プログラムを実施中。このプログラムではお身体の評価をもとに後遺症の改善見込みをお伝えします。

愛&ハートを見てご予約いただくと、初回、通常5,000円+税のところを**無料**でご招待いたします。ぜひこの機会に、特別体験プログラムを受けていただき、後遺症の改善を目指しましょう。



センター長 伊藤 正憲

理学療法士（20年目）。神戸大学大学院卒（保健学博士）。病院でさまざまな症状の脳卒中後遺症リハビリを経験。その後、理学療法士養成校で理学療法学科の副学科長を務め、教育と研究に従事。学会発表や論文・著書の執筆も多数。

脳梗塞リハビリステーション神戸須磨

0120-362-560 神戸市須磨区大池町5-16-4 ヴィタ大池2階 (JR「鷹取」駅より徒歩3分)

■営業時間／9:00～18:00 ■定休日／日曜日

ご予約時に、**愛&ハートを見たお伝えください**



「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723

Website <https://zendentu-kinki.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>
E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

